·	1   王一一	轉門学校	開講年度 令和05年度(2	2023年度) 1	受業科日					
 科目基礎		ALL LICE			<u>~~!` </u>	工工程以下口				
<u>17 山                                   </u>	CIH+K	11324		科目区分	専門 / 選択					
行 <u>日田与</u> 授業形態		演習		単位の種別と単位数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
<del>以来心态</del> 開設学科		機械工学科	N	対象学年	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
<u>用設于作</u> 開設期		通年	7		2					
用政州			マファク 甘歴からけじかる 悸起	· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		これ お木ノシス				
教科書/教	材	ボイント(著 実教出 械製図演習	『マスター 基礎からはじめる 情報 出版 ISBN:978-4-407-34055-6/ 習」 近藤巌 編 (パワー社) IS	リテラシー Office201 「機械製図」 林洋次 BN:978-4-8277-3040	監修  (実教	D_ 杉本くみ子、吉田栄子 共 出版)_x000D_ 「機				
担当教員		鬼頭 俊介,	清水 利弘,若澤 靖記,小谷 明,中村 裕	紀,淺井 一仁,佐郷 幸法	神永 真帆					
到達目標	票									
(イ)技術か (ウ)身の回 (エ)身礎的 (オ)1学年 (カ)数理のの (キ)基礎的 (ク)基礎的	が社会に与え 回りの危険( りなプログラ の数学・物 ・データサー の基礎にして りな実験を行	固所を指摘して ラミングの手流 J理の基礎的な イエンス・AIの いて理解できる	ですの責任について理解できる。 こ、改善策を提案できる。 また理解できる。 内容を理解できる。 D基礎について理解できる。	వె.						
ルーブリ	ノック									
			理想的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安				
評価項目1	L		技術が社会に与える影響や技術者の責任について理解し、説明できる。	機械工学で学ぶ領域を 術が社会に与える影響 責任について理解でき	や技術者の	技術が社会に与える影響や技術者の責任について理解できない。				
評価項目2	2		身の回りの危険個所を指摘し、改善策を提案できる。	身の回りの危険個所を	指摘できる	身の回りの危険個所を指摘できない。				
評価項目3	3		基礎的なプログラミングを理解し 、応用できる。	基礎的なプログラミン きる。	グを理解で	基礎的なプログラミングを理解で きない。				
評価項目4	1		数理・データサイエンス・AIの基礎について理解し、説明できる。	数理・データサイエン 礎ついて理解できる。		数理・データサイエンス・AIの基 礎ついて理解できない。				
評価項目5			数学・物理の基礎的な内容を理解 し、応用問題を解くことができる。	数学・物理の基礎的な し、基本問題を解くこ 。	内容を理解 とができる	数学・物理の基礎的な内容を理解 できない。				
評価項目6			製図の基礎について理解し、規則 に従って文字、線、簡単な図形を 書くことができる。	製図の基礎について理	解できる。	製図の基礎について理解できない。				
評価項目7			基礎的な実験を行い、データ整理 、考察および報告書の作成ができ る。	基礎的な実験を行い、 ができる。	データ整理	基礎的な実験を行い、データ整理 ができない。				
学科の到	到達目標項	頁目との関係	系							
本校教育目 本校教育目 本校教育目	目標 ② 基礎 目標 ③ 問題 目標 ④ コミ 目標 ⑤ 技術	風解決能力 ミュニケーショ	ン能力							
概要	<u>公</u> <del>,</del>	鯛味を共っ	中では将来ものづくりに携わる技術者ってもらうとともに創造力、探究心をで必要となる基本的な知識・能力を身づラミング、技術者倫理などについための演習を行う。	夸み 同時に白分が問題	まち 坦 記し 船ぐ	1はス能力を萎い 全後の亩門利日				
	め方・方法									
		製図用具一	-式を用意すること。							
注意点	多の種別	・旧カリ科目	 ]名							
 選択必修 旧カリ科目 旧カリキュ	3名: 工学 1ラム「エ	学基礎演習(3	単位)」は新カリキュラム「工学基础	楚演習(2単位)」「情報	服基礎(1単位	立)」を合わせて修得することで認知				
選択必修 Bカリ科目 Bカリキコ される。	ュラム   エ: 	学基礎演習(3	単位)」は新カリキュラム「工学基础	楚演習(2単位)」「情報 	服基礎(1単位	立)」を合わせて修得することで認っ				
選択必修 日カリ科E 日カリキニ される。 受業の属	ュラム   エ: 属性・履(	学基礎演習(3  多上の区分		1	服基礎(1単位					
選択必修 日カリ科E 日カリキ」 される。 受業の居 」 アクテ	ュラム   エ: 	学基礎演習(3  多上の区分	単位)」は新カリキュラム「工学基础	歴演習(2単位)」「情報	服基礎(1単位 ————————————————————————————————————					
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 授業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>属性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3  多上の区分		1	限基礎(1単位					
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 受業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>属性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3)		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 授業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>属性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3		□ 遠隔授業対応	服基礎(1単位 との到達目標	□ 実務経験のある教員による授業				
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 授業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>属性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3) 多上の区分 ニング 週 排	☑ ICT 利用 受業内容 ガイダンス(本科目の概要、機械工学	□ 遠隔授業対応 週ごの 対で学ぶ科目の 本科	との到達目標	□ 実務経験のある教員による授業				
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 授業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>属性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3 多上の区分 ニング 週 週 類 1週 第	☑ ICT 利用 受業内容 ガイダンス(本科目の概要、機械工学 売れ)	□ 遠隔授業対応 週ごの 料で学ぶ科目の 本科 る。	上の到達目標 目の概要、機	□ 実務経験のある教員による授業   「 実務経験のある教員による授業   「 実務経験のある教員による授業   「 実務経験のある教員による授業   「 実務経験のある教員による授業   「 実務経験のある教員による授業   「 まるとします。」				
選択必修 日カリ科目 日カリキニ される。 授業の属 」 アクテ 込履修	ュラム   エ: <u>禹性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3 多上の区分 ニング 週 月 1週 7 2週 月	☑ ICT 利用 受業内容 ガイダンス(本科目の概要、機械工学 流れ) 支術者倫理	□ 遠隔授業対応 週ごの 科で学ぶ科目の 本科 る。 技術	との到達目標 目の概要、機 皆の倫理・責	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。				
選択必修 旧カリ科目 旧カリキニ される。 授業の属 □ アクテ	ュラム   エ: <u>禹性・履</u> ( =ィブラーニ	学基礎演習(3 多上の区分 ニング 週 1週 2 2週 3 3週 /	☑ ICT 利用  受業内容  ガイダンス(本科目の概要、機械工学  充れ)  支術者倫理  『ワーポイントの演習	□ 遠隔授業対応 週ごの 科で学ぶ科目の 本科I る。 技術を	との到達目標 目の概要、機 皆の倫理・責 -ポイントの	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。 使用法を理解する。				
選択必修 田カリ科目 田カリキー される。 授業の属 □ アクテ 必履修 授業計画	ュラム   エ: 属性・履作 =ィブラーニ 画	学 基 使 漢 多 上 の 区 分 二 ン グ 週 1 週 1 週 2 週 3 3 週 3 3 3 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	☑ ICT 利用 受業内容 ガイダンス(本科目の概要、機械工学 流れ) 支術者倫理	□ 遠隔授業対応 週ごの 科で学ぶ科目の 本科I る。 技術を	との到達目標 目の概要、機 皆の倫理・責 -ポイントの	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。				
選択必修 旧カリ科目 旧カリキ」 される。 授業の属 □ アクテ 必履修 授業計画	ュラム   エ: <u>禹性・履</u> ( =ィブラーニ	学 基 を 上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 2週 3週 4週	☑ ICT 利用  受業内容  ガイダンス(本科目の概要、機械工学  充れ)  支術者倫理  『ワーポイントの演習	□ 遠隔授業対応 週ご。 科で学ぶ科目の 本科に る。 技術に パワー 基礎に	との到達目標 目の概要、機 皆の倫理・責 - ポイントの りなプログラ	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。 使用法を理解する。				
選択必修 旧カリ科目 旧カリキ」 される。 授業の属 □ アクテ 必履修 授業計画	ュラム   エ: 属性・履作 =ィブラーニ 画	学 基 を 上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 5週	<ul><li>☑ ICT 利用</li><li>受業内容</li><li>ヴィダンス(本科目の概要、機械工学 流れ)</li><li>支術者倫理</li><li>プログラミング</li></ul>	□ 遠隔授業対応 週ごの 和で学ぶ科目の 本科に る。 技術に パワー 基礎に 基礎に	との到達目標 目の概要、機 皆の倫理・責 -ポイントの 内なプログラ 内なプログラ	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。 使用法を理解する。 ミングを理解する。				
旧カリ科E 旧カリキコ される。 授業の属	ュラム   エ: 属性・履作 =ィブラーニ 画	学 基 を 上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 第	図 ICT 利用  受業内容  ヴイダンス(本科目の概要、機械工学  流れ)  技術者倫理  『ワーポイントの演習  プログラミング  プログラミング	□ 遠隔授業対応  週ごで 科で学ぶ科目の 本科に る。 技術で  基礎的 基礎的  1学年	との到達目標目の概要、機 者の倫理・責 ーポイントの 内なプログラ 内なプログラ で学ぶ数学	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 住について理解する。 使用法を理解する。 ミングを理解する。 ミングを理解する。				
選択必修 旧カリ科目 旧カリキ」 される。 授業の属 □ アクテ 必履修 授業計画	ュラム   エ: 属性・履作 =ィブラーニ 画	学 基 を 上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	図 ICT 利用  受業内容  ガイダンス (本科目の概要、機械工学  荒れ)  支術者倫理  『ワーポイントの演習  プログラミング  プログラミング  数学・物理演習	□ 遠隔授業対応 週ごの 科で学ぶ科目の 本科服 る。 技術 パワー 基礎に 基礎に 1学年 1学年	との到達目標 目の概要、機 者の倫理・責 ーポイントの りなプログラ りなプログラ で学ぶ数学 で学ぶ数学	□ 実務経験のある教員による授業 械工学科で学ぶ科目の流れを理解す 任について理解する。 使用法を理解する。 ミングを理解する。 ミングを理解する。 ・物理を理解する。				

		9逓	l	数理	・データサイ	エンス・AI 数理・データサイエン	数理・データサイエンス・AIの基礎について理解する。									
		10)	周	数理	・データサイ	エンス・AI 数理・データサイエン	数理・データサイエンス・AIの基礎について理解する									
		11)	周	数理	・データサイ	エンス・AI 数理・データサイエン	数理・データサイエンス・AIの基礎について理解する。									
	2ndQ	idQ 12)	周	郷土の	の産業調査・!		*  郷土の産業の特徴について理解する。学校内の危険な  個所を探して、改善策を考える。									
		13	周	リス	クパトロール	学校内の危険な個所を探して										
		14) 15)	周	数理	・データサイニ	エンス・AI 数理・データサイエン	数理・データサイエンス・AIの基礎について理解する。									
			周	数理	・データサイ	エンス・AI 数理・データサイエン	ノス・A	Iの基礎につい	ハて理解する							
		16	周													
		1逓		基礎	実験	データ収集・整理、レ	/ポート	の作成法を修	得する。							
		2逓		基礎等	実験	データ収集・整理、レ	データ収集・整理、レポートの作成法を修得する。									
		3逓		基礎	実験	データ収集・整理、レポ		- 卜の作成法を修得する。								
	2540	4逓		基礎	実験	データ収集・整理、レポ		- 卜の作成法を修得する。								
	3rdQ	5週		基礎	実験	データ収集・整理、レポー		トの作成法を修得する。								
		6週			R室見学 機械工学科で行われている 陸図学 (機械製図の重要性と機械要素) 製図の基礎について理解で		いる研	る研究について理解する。								
		7逅					解でき	きる。								
× #0		8週	8週 基礎		<b>楚図学(製図に用いる文字)</b> 製図の基礎について理解で		解でき	きる。								
後期		9逓		基礎	図学(製図に月	用いる尺度) 製図の基礎について理	製図の基礎について理解できる。									
		10)	周	基礎	図学(製図に月	用いる線の種類と書き方) 製図の基礎について理	 里解できる。									
		11)					基礎について理解できる。									
		12)			図学(製図に月	用いる線の種類と書き方) 製図の基礎について理	製図の基礎について理解できる。									
4	4thQ	13	3週 基礎 1週 基礎				製図の基礎について理解できる。									
		14)					製図の基礎について理解できる。									
		15)				法による投影図の基礎) 製図の基礎について理解で										
	16			一一全灰凶丁(为一円/		Aによる[Xが回り至此] 表回の至此にラV・C 左所・		. 00								
	フナロナ			\₩₽₽	마 ♡ 노제션											
	アカワイ		分野	<b>子白</b>	内容と到達	Inc		까하	松光油							
分類					学習内容	学習内容の到達目標  説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者	 の行動	到達レベル    4	授業週							
									に関する基本的な責任事項を説明できる。 現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする丁学	<u></u> 分野に	ļ '	前2				
			(知的)法令顺				(					技術者倫理 (知的財産、	現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学 関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい 説明できる。	行動を	4	前2
					令順守、 結可能性	法令順守、	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識して	いる。	4	前2						
			技統リ  を含む	がおよ	持続可能性 を含む)およ び技術史	社会における技術者の役割と責任を説明できる。		4	前2							
			び技術	史		情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権な どの法律について説明できる。		4	前2							
						高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理 との関わりを説明できる。		4	前2							
基礎的能力	工学基礎	基礎				情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		4	前2							
						コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用。	できる	4	前2							
		情報! シー			ラ 情報リテラシー	情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。		4	前2							
				テラ		情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。		4	前2							
						個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮だできる。		4	前2							
						インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している		4	前2							
						インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用におけな脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	4	前2								
						図面の役割と種類を適用できる。		4	後7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15							
									後7,後8,後							

製図用具を正しく使うことができる。

線の種類と用途を説明できる。

分野別の専 門工学

機械系分野 製図

専門的能力

後7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15

後7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15

4

4

					物体の投影図を正確にかくことができる。		4	後7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15
評価割合								
				課題		合計		
総合評価割合 10				100	1	100		
基礎的能力 1				100		100		